

—特集—

VIDEOレターで企業アピール
動くプロジェクトWAO

—トピックス—

福井YEGから市民実行委員会へ
第5回YOSAKOIイッチョライ

平成15年度全国会長研修会ふくい会議をPR
第21回近畿ブロック大会 加古川大会

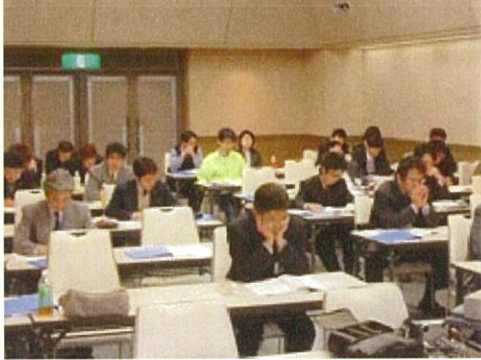


Contents

総会・例会報告	
4月総会	4
5月例会	5
6月例会	6
7月例会	7
8月例会	8
YEG活動報告	
桜ハートランド・時代行列	1
YOSAKOIソーラン祭り 視察	2
第1回YEG塾	3
Fitイッチョライ	4
第5回 YOSAKOIイッチョライ	5
高知よさこい祭り 視察	6
第8回 ふくい市民会議	7
プロジェクトWAO	1
新入会員紹介	1
会員短信	1
西木田通信	1
サイトヘルプ	?



4月総会



4月23日(水)に平成15年度定期総会ならびに4月例会が開催されました。総会では第1号議案 平成14年度事業報告並びに収支決算、第2号議案 平成15年度役員(理事・監事)の変更(案)、第3号議案 平成15年度特別会費(案)、第4号議案 平成15年度事業計画(案)並びに収支予算(案)がそれぞれ担当から報告・議案提示があり、全ての議案について賛成多数で承認されました。この中で今年度の会長である林洋三君から今年一年の青年部事業にかける抱負と青年部をビジネスの場としてドンドン活用してもらいたいとの心強い挨拶がありました。



引き続き行われた4月度例会では、まず5名の新入会員の方が紹介され林会長から手帳と青年部手帳が渡されました。林会長が新入会員に期待する言葉をかけた後、一名ずつ自己紹介と豊富を語っていただきました。

その後は、各委員会委員長からの意気込み報告。各委員長が考えている一年間の委員会の活動内容とそれぞれの委員長としての意気込みを語っていただきました。今年の委員長は一味違う? 第一声に「みなさん儲かってますか〜?」とビジネスを強調する石川ビジネス発信委員会委員長。「はあ〜北陸トンネルねえ、イッチョライ」と歌いだす木村広報委員会委員長。「委員長を受けるに当たり家族会議を開きまして・・・」と語りだす宇佐美イッチョライ委員会委員長など。こんな委員長で大丈夫?と思いつつも今年度は個性があって、何をしてくれるのか楽しみな委員会報告となりました。



総務委員会 菊 祥行





5月例会



「いま一度『YOSAKOIイッチョライ』を考える」

平成15年5月28日、5月度例会はテーマを「いま一度『YOSAKOIイッチョライ』を考える」と題し、8月の本番に向かっていよいよ本格始動を始めたYOSAKOIイッチョライについて行った。

今年度の活動方針でもあるYOSAKOIイッチョライ「全体事業化」に向けて、あらためて全会員にその概略(目的)および市民実行委員会の設立経緯を知ってもらおうと同時に、重要懸案である「市民実行委員会の独立～NPO化」について、いま一度青年部としての意見をアンケートによって汲み上げ、今後の活動指針としていくのが狙いである。アンケートに関しては忌憚りの無い意見を聞くために、無記名式とした。

以下に、その結果を報告する。

- [アンケート結果《YOSAKOIイッチョライについて》](#)
- [アンケート結果《市民実行委員会について》](#)

以上、主な項目の結果とそこに出された意見をいくつか紹介したが、御覧のとおり、福井の祭りの在り方を変えようとしているYOSAKOIイッチョライへの期待は大きい。しかし、創り上げる祭りの実現には市民実行委員会の存在とその独立が必要不可欠であるとしながらも、まだ少し時間が掛かるであろうという見方が大勢を占めている。

ここまで拡大してきたYOSAKOIイッチョライを、青年部がこれまでどおりの関わり方を続けていくことに無理が出てきているのも事実。これからは、「青年部」としてではなく、「一市民」としてどのように関わっていけるかを、個々が考えていかなければならないのかも知れない。

イッチョライ委員会 前田 弘



6月例会



6月11日 福井商工会議所 地下 国際ホールにて、

我々、福井YEGが、全国会長研修会ふくい会議を主幹するにあたり、青年部全体の意思を再確認し、改めて結束強化をはかる為、商青連会長 鈴木 悌介氏を福井にお迎えしてご講演を頂いた。

商青連会長 鈴木 悌介氏の講演は、全国会長研修会ふくい会議に向けた期待と激励にみちた、1時間以上の熱が入った講演になった。

講演は、まずは、鈴木会長のご商売(鈴廣・蒲鉾)に関するお話で、老舗上の悩みや、ご苦労また新しい顧客獲得の為の商品開発や社員教育など、我々YEG 同士としてとてもわかりやすく、またいち経営者として、明日からすぐに実践できる内容だった。

次に、全国商青連の活動と役割について説明が話された。

日頃、全国商青連の活動がいまいち理解できていない我々に、単会との係わり合いがどれだけ重要で必要な事をわかりやすく解説をして頂いた。

以上のような「あっ」という間の楽しい講演に、福井YEGのメンバー大変充実した感激を覚えたに違いない。

また二次会も、片町ホリーズで大勢のメンバー出席のもと、鈴木会長の新たな一面を顧みるとてもユニークな場面になった。鈴木会長には、またぜひとも来福して頂きたいものだ。





7月例会 3単会(鯖江・武生・福井)交流会



7月19日(土)、梅雨もまだ明けきらない中、毎年恒例となった鯖江・武生・福井 YEGの3単会交流会が鯖江YEG主管のもと、サバエ・シティホテルにおいて行なわれた。

当初、参加人数が思うように集まらず、かなり苦労したが、最終的には40人を超える参加者が集まり、ホッと胸を撫で下ろしたのは記憶に新しい。

また、今年の交流会においては、鯖江YEGのご厚意により無料送迎バスが手配され、午後5時、福井商工会議所を出発した。



サバエ・シティホテルでは主管青年部である、鯖江YEGの熱烈な歓迎を頂き、改めて3単会交流会の意義を実感した。尚、今回の交流会では「青年部福袋」や「青年部見本市」といった企画があり、各単会のYEGメンバーの事業所等をPRする機会が設けられた。また、資料には各事業所のPRコメントが掲載され、鯖江YEGのビジネスに対する意識の高さが裏付けされたように思う。

午後6時より各単会別に例会タイムが設けられ、林会長の挨拶の後、委員会報告並びに新入会員の紹介が行われた。今回は4名の新入会員が参加され、意識の高さが伺えた。



その後会場を移動し、3単会合同の例会が行われた。まず、最初に玉木県連会長の挨拶の後、単会自慢「青年部の主張」に移った。

福井YEGとしては、ビジネス発信委員会より好評だった「YEG塾」をもとに青年部内外でのビジネスを中心にした題材を踏まえ、パワーポイントを使用しビジネス発信委員会の石川委員長より、発表をして頂いた。

また、内容に関しても非常に好評であった。この場を借りて、石川委員長を初め、ご苦労頂いたビジネス発信委員会の皆さんには、お礼を申し上げたい。

次に、3単会会長によるパネル・ディスカッションが行われた。福井YEGの林会長を初め、武生YEGの坂口会長、鯖江YEGの南部会長が各単会の現状や問題点についての話し合いが行われた。

最後にコーディネーターである、玉木会長の総括で閉め括られた。しかし、このパネル・ディスカッションで非常に印象に残ったのは、各会長ともに非常に雄弁で、会長になるには、これだけのスピーチが出来なければ会長にはなれないと言うのが、私なりの感想であった。

その後、時間もかなり押し迫る中、8階のレストランに移動し待ちに待った「懇親会」が始まった。鯖江YEGの会長より挨拶・乾杯が行われた後、暫くの間歓談があり、次に懇親会の目玉である「各単会PRタイム」に移った。

福井YEGとしては、目前に迫る「YOSAKOIイッチョライ」と「全国会長研修会」にターゲットを絞り、PR活動を行った。

参加した福井YEGメンバー全員が、イッチョライの長半纏、又は会長研修会のPR用ジャンパーをはおり、当委員会の主管業務でもある「YEG&イッチョライ・オドロッサ」が演舞する「総踊り」を踊り、力強いアピールを行った。

また、イッチョライに関しては宇佐美委員長より、会長研修会においては清川実行委員長より詳細が発表され、鯖江YEGや武生YEGのメンバーにも多めにPRされたように思う。

午後9時半頃には閉会となり、福井YEGメンバーは手配された無料送迎バスで帰路に着いたが、林会長号令のもと、半数以上のメンバーが夜の片町へと消えていったのは言うまでもない。

尚、この3単会交流会を通じて私個人として、非常に印象に残ったのは、この事業を行うにあたり、主管YEGである鯖江YEGの委員長と、公私ともに懇意になれたことが、一番心に残っている。

会員フォローアップ委員会 高間 貞行

平成15年10月1日発行 発行者 / 林洋三 編集者 / 木村幸生
発行所 / 福井商工会議所青年部広報委員会 福井市西木田2-8-1 TEL0776-33-8253 FAX0776-36-8588



8月例会 第21回近畿ブロック大会 加古川大会

平成15年8月29日(金)・30日(土)開催
場所 兵庫県加古川市



『日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 第21回近畿ブロック大会 加古川大会』に総勢38名にて参加しました。『平成15年度全国会長研修会福井会議』のPRを兼ねた大会ともあり、林会長をはじめ6名は前日からの参加となりました。

主会場に向かう道中、バスの中にてPRの打ち合わせが行なわれました。地元ブロック大会PRということで非常に熱の入ったPR内容になっていました。もちろん3度の練習を持って、前泊者との入念な打ち合わせのもと、行なわれました。



当会場に着くと物産展(加古川楽市)が行なわれていました。加古川市役所前広場にて行われている事もあり、市民を交えた盛大な物産展になっていました。ブースにおいても63ブースと非常に多いもので『平成15年度全国会長研修会福井会議』物産展担当である対外交渉委員会の私にとっては非常にプレッシャーとなるものでした。

控室にて一部衣装?に着替え式典前PRに向かい地元市民、参加者へのPRを終え、式典へと参加しました。式典最終に林会長、清川実行委員長以下PR部隊によるPRが行なわれました。記念講演では(株)アントレプレナーセンター代表 福島正伸氏による講演が開かれ、加古川大会テーマ『加古川で人もうけ!』に合った出会いは最高のビジネスチャンスといった内容になっていました。



分科会では、業種別チームに分かれ若手経営者育成ウルトラクイズが行なわれました。

なんと優勝者には本当のニューヨーク旅行券がプレゼントされる内容になっていました。

我が福井YEGではニューヨークは獲得できませんでしたが、有馬温泉入浴を藤澤氏がゲットいたしました。



大懇親会においては、福井名産の着ぐるみ部隊及び福井の美女?とともににはなわの替え歌によるPRが行なわれ、大盛況のもとに加古川を後にしました。

今回私はブロック大会初参加でありましたが、会長研修会また福井市民会議へとつながる良い経験になったかと思えます。

対外交渉委員会 水元 一暁



桜ハートランド・時代行列



本年度のふくい春まつりは4月5日6日の両日にわたって行われました。例年だと、2週にわたって行われた行事なので、準備やスタッフの確保で大変な苦勞を強いられました。

桜ハートランドに関しては昨年に引き続き、桜ハートマップの作成(桜並木の桜の位置を正確に測量し、ナンバリングしてからデジタルデータに保存、そのデータと福井市観光課が管理している桜カルテと照らし合わせてパネルを作成展示)及び桜並木のネーミング募集を行いました。募集数は最終的に500以上にも及びました。なかには「足羽の清流に沿ってのランド」や「心温まる幸せ通り」などユニークなものもありました。結果は市の観光課に報告し今後の桜並木保存延命活動に繋がられるように働きかけています。



青年部内では終息に向かっている事業のひとつですが、まだまだ桜並木の保存延命を一般市民に広く呼び掛けていく必要があります。とりあえずこの事業を今後につなげるという役割は、果たしたと思っています。

時代行列では、恒例の幕末明治隊の登場人物を改めて知ってもらうために、配役のパネル作成展示を行いました。準備期間を含め、唯一楽しいと思った福井市商店街連合会婦人会のきれいどころとのダンス、委員会内の素人集団で夜遅くまでかかり練り上げた台本による寸劇、本番三日前に持ち上がった行進中のチャンバラ。特に最後のステージにて他団体との共演による全体パフォーマンスでは、前には4,000人の観客、後ろにはあの松平健さん、たった三行のセリフでしたが非常に緊張した一瞬でした。



前日まではスタッフ募集や練習内容などでは、とても不安な状況が続いていましたが、いざ当日になると延べ50名以上のスタッフの参加があり、盛り沢山な内容の時代行列を難無くこなしてしまいました。YEGのパワーを改めて感じた二日間でした。

各委員長や配役をはじめ、お忙しい中駆け付けて頂いた会員のみなさま本当にありがとうございました。



対外交流委員会 友田 博道



YOSAKOIソーラン祭り 視察



6月6日(金)

一足早く先発隊は、ソーランナイト(昨年の上位チームの演舞)を観て、今年のソーランの雰囲気を感じた。

6月7日(土)

午前中先発隊は、当イッチョライでの招待チームである北海道大学「縁」の演舞会場に行き、150名全員に来福を依頼した。縁の演舞では、声だして清川氏がコラボレーションした。

午後に本体と合流し、札幌テレビ放送株式会社の佐々木美佳さんを訪問した。(佐々木さんは、昨年福井のイッチョライを観ていただき、交流があった。) YOSAKOIソーラン祭りを裏方として長谷川岳さんたちと携わってきた様子を聞いた。また、現在の問題点や方向性などもお話頂いた。



大通り公園では、昨年から一般客を巻き込むための輪踊りソーラン会場が賑わい、今年から新しく食の会場ができ、軽食やビールで和んでいた。

18:30 明新森組さんのパレードを応援した。

22:00 チーム協議本祭大交流会に出席し、道内17チーム・道外11チームと交流する。又、自己紹介にて福井YOSAKOIイッチョライを広くアピールした。

6月8日(日)

午前中、越前一張羅隊のパレードを応援した。

本祭りに参加している道外チームでNPOに関係していると思われるチーム代表者と名刺交換をおこなった。(うつくしまYOSAKOI振興会・東京農業大学・CHIよREN北天魁)

祭りは全日晴天に恵まれ、ファイナルコンテストでは、平岸天神が5度目に大賞に輝いた。

6月9日(月) 午前中、札幌商工会議所会員サービス課平野一紀課長から、会議所として、祭りへの関わり方を聞いた。

午後の飛行機の中、心地よい疲れの中眠っていた。

イッチョライ委員会 出田 吏一



第1回YEG塾



平成15年6月18日(水)、YEG会員企業の福井パレスホテルにて第1回YEG塾を開催した。この第1回YEG塾は、会員ご自身の商売についてを思い存分語って頂き、青年部内での商売ネットワークを広げることを目的とした事業である。

「儲かってまっか…？」のかけ声の後、まずテーブルディスカッションを行った。「このテーブルディスカッションでは、商売の話以外は禁止。特にYOSAKOIイッチョライ・全国会長研修会の話は厳禁。」という厳しい(?)ルールのもと、ビジネス発信委員会から選出した選りすぐりのコーディネータを中心にディスカッションが進められた。自分の商売の紹介と質疑を中心に進められたが、自分の商売の事に関して、とにかくみんな情熱的に力を込めて語られていた。普段はあまり話されないような方が、商売のことに関しては熱っぽく語られていたのが印象的であった。各テーブルとも大盛り上がりのなか、あっという間に予定時間を終え、テーブルディスカッションを終了した。



続いて、ビジネス発信クイズ。「YEGメンバーの商売のことをもっとよく知ろう」をモットーに会員の商売に関するクイズを出題した。ビジネス発信委員会の英知を結集して作成したクイズが次々と出題されたが、「YEGメンバーの商売のことをどれだけ知っているか」、「YEGメンバーの商売のことをいかに知らないか」を参加者が再認識する機会であったかと思われる。成績優秀者には、商売繁盛に直結する(?)ビジネス書を贈呈した。

最後に高原副会長による総括。「YEGは知情の星である。即ち、YEGは商売に関する知識と情報の集まりである。」と、何とも感動的な総括を頂いて第1回YEG塾を終了した。

今回のYEG塾を通して、互いに顔をあわせ、情熱をこめて商売のことを話し合うことこそが互いの商売のことを知り、YEG内での商売を生み出すことになることあらためて感じた。この事業を機にYEG内での商売ネットワークがより広がり、YEGメンバーの方々の商売がより繁盛すれば幸いである。

ビジネス発信委員会委員長 石川 裕夏



Fitイッチョライ



6月28日(土)片町ホリーズにて「Fitイッチョライ」がチーム代表者間の情報交換、交流の場として開催されました。

今回は“部会制導入”されての初めての事業ということで、部会内のほとんどの方が、何も分からない。どうして良いのか分からないといった状態で、一体どうなるのかと不安いっぱいの中でのスタートでした。

最初は、どういった方が部会のメンバーなのか、お互いに認知する事や、どうやって連絡を取り合うのかといった事から始めなければならず、意見を出し合うといっても、遠慮ばかりで少しも話が進みませんでした。が、何度も集まって頂き、熱心に会を重ねてゆくうちに、メンバーたちの中に、「どうしたら、少しでも多くの方が参加していただけるか。また参加された方々に喜んで頂けるか。」といった気持ちが芽生え、最後にはメンバー一丸となって一生懸命取り組みました。



その甲斐あってか、当日は110名のご参加を頂きゲームなどで大変な盛り上がりの中終了することができました。そしてこの行事を通じて、部会内の団結はさらに堅くなったようでした。めでたし、めでたし。

対外交流委員会 岩本 史枝





第5回 YOSAKOIイッチョライ



8月2日・3日、YOSAKOIイッチョライが、九十九橋北詰を中心とした、本町通りと芦原街道にて行われました。今年福井フェニックスまつりは第50回を迎え、例年行われてきたフェニックス通りから離れ、新しい会場になりました。YOSAKOIイッチョライも第5回と節目の祭りとなりました。総チーム数86チーム、総踊り子数4500人を越え、フェニックス会場も3から4会場に増設。また全体では新たに呉服町会場が増え、ますます、YOSAKOIイッチョライを盛り上げて頂きました。今年も盛大に開催出来ましたのは、関係各位並びに多くの市民、協賛団体や協賛企業そして福井商工会議所青年部各位の支えによるものと感謝申し上げます。



今年度、福井YEGは、YOSAKOIイッチョライを全体事業として取り組み、各委員会が市民実行委員会内の7つの部会と連携し、YOSAKOIイッチョライに関する各種の事業を企画し運営を行って頂きました。希望を募り集まって頂いたチーム推薦の方や、一般から参加して頂いた個人の方などが集まる各部会を、サポートし会議を開催、企画からYOSAKOIイッチョライに深く関わって頂きました。市民の立場から市民の為の祭りを創りたいという、長年の青年部の思いが少しずつ形になりだした大事な一歩になったと考えています。この青年部と市民実行委員会の動きが、踊り子や観る者だけでなく、祭りに関わるスタッフをも熱くするものと思います。この熱い思いが躍動・力となり、益々大きくなる市民の輪・歓喜となることでしょう。それが将来にわたりYOSAKOIイッチョライの魅力となり、福井の『夏の風物詩』『顔』として大きな祭りとなるよう、そして市民実行委員会の今後の方向性について、『市民による市民のためのイッチョライ』を基本に検討を行わなってもらいます。皆様のお力をおかりしたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



イッチョライ委員会 宇佐美 嘉一





高知よさこい祭り 視察



自由と自己責任の祭り・よさこい祭り

♪土佐の～高知の～はりまや橋で
坊さんかんざし買うを見た
よさこいよさこい～



2台の地方車が爆音を鳴らしながら平行して進む競演場、難民を思わせるほど地方車に乗り込む踊り手達、踏み切りで隊列が寸断したり、バス・タクシー走行時は演舞途中であっても隊列を狭めたり、見物人の渦の中に地方車が入り込んだりと、南国の情熱と自由な風土が生み出したこの“よさこい祭り”で繰り出される光景は福井では信じられない出来事ばかりです。

そんな光景を目の当たりに見た後、第50回“よさこい祭り”真っ只中の8月11日、林会長と、宇佐美氏、郡谷氏、小谷氏、牧野の5名は、高知商工会議所にある、よさこい祭り振興協議会を訪問しました。祭り最中のお忙しい時にもかかわらず、同協議会の澤本事務局長様(高知商工会議所担当課長)に対応いただき、よさこい祭りの運営やその中身について午前9時より約2時間、資料を交えながらの丁寧なご説明をお伺いすることができました。私たちは真っ先にこれまでの信じられない光景について質問を投げかけても、「特段、今まで問題か無かったきに…」と、当の担当者は軽く受け流すだけ…。

- 予算規模約1億円
- 市のお祭りに県が1,000万補助
- 商店街会場は商店街が企画・運営
- 地方車使用許可はチーム責任
- 演舞スケジュールがあるのは審査会場のみ、その他の会場での演舞は全てチーム判断
- パレード会場での演舞回数は規定なし
- 地方車の音は殆どが生音

このよさこい祭りは、50年の歴史が培った市民権を持ったお祭りであり、そのうえ観る側も踊る側もつくる側も自己責任の枠組みが徹底されているのです。

私にとっては、1年ぶりの高知でしたが中心街にある高知西武百貨店はいつのまにか閉店されており、多くのチームと見物人で輝き弾ける“よさこい演舞場”を持つ、地元商店街の元気を更に浮き彫りに感じた研修でした。(ちなみに、アーケード商店街の賃料は1坪平均3万円。これまた、ふひよ～！)

副会長 牧野 利幸



第8回 ふくい市民会議

ふくい市民会議とは、福井のまちを市民参加でより良く発展させるべく、緊急かつ重要性の高い課題について考え協議し、個性を活かした独自性のあるまちづくりを目的としています。主催団体は(社)福井青年会議所 まちなかNPO 福井経済同友会そして福井商工会議所青年部です。

ふくい市民会議は福井商工会議所青年部と(社)福井青年会議所が交互に主導となり年2回開催してきました。今年もまず、青年会議所が主導となり第8回ふくい市民会議を開催しました。テーマは「新県都のまちづくり」です。内容は、平成17年2月1日5市町村が合併し新しい市が誕生する予定になっています、その新市を魅力的なまちにしていこうために地域住民はどう取り組むべきなのか、そして自立した地域の創造に向けて多くの住民の方々と一緒に現在の市町村の枠を越えた交流の中で意見を共有していこうというものです。

8月31日ふくい市民会議当日

各市町村の住民や各市町村会議員約150名が詰め掛ける中、商工会議所青年部スタッフはテーブルコーディネーターや書記といった重要な役割を担いました。スタッフの中には前日の近畿ブロック大会に参加して帰宅が深夜2時を越えた方がたくさんいましたが、それぞれのテーブルをまとめ上げ、うまく参加者の意見を聞きだすことが出来たようでした。スタッフのご協力には大変感謝しております。今回のふくい市民会議は各市町村の多くの住民や各市町村会議員の参加、酒井福井市長の途中傍聴などからわかるように、非常にタイムリーで重要なテーマだったようです。現在このテーマを受け継いで第9回ふくい市民会議を企画中です、青年部主導の「ふくい市民会議」なお一層のご協力を願います。

対外交渉委員会 友田 博道



プロジェクトWAO



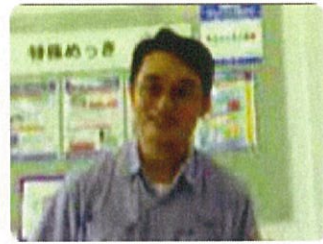
パッケージプラザ
福井問屋町店
上坂 一仁くん



岡山部品(株)
岡山 宇太郎くん



(株)木村敏商店
木村 幸生くん



清川メッキ工業(株)
清川 卓二くん



(有)ビジコン
高原 裕一くん



(株)住みかえ情報館
林 洋三くん



(株)マリージョゼ
山岸 寛士くん



プロジェクトWAOのムービーをご覧になるには、QuickTimeが必要です。



新入会員紹介



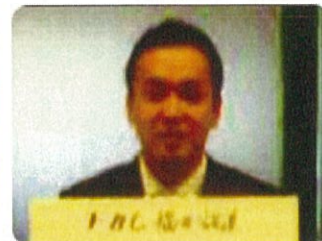
鈴木 和男くん
(有)パイプ美人
(総合設備 メンテナンス)
O型 1971年12月29日
推薦者: 出田 史一



中村 誓介くん
(株)福井銀行(銀行業)
B型 1965年4月15日
推薦者: 竹内 俊浩(交代会員)



中谷 治郎くん
ホクコンマテリアル(株)
(杭基礎工事)
AB型 1971年10月8日生
推薦者: 松本 公彦(交代会員)



中谷 裕志くん
福井放送(放送局)
A型 1975年7月20日生
推薦者: 石村 史朗(交代会員)



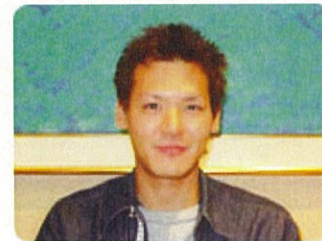
林 良泉くん
(株)スタジオ日報
(イベント運営 映像製作)
A型 1971年1月10日生
推薦者: 林 洋三



前田 真樹くん
前田塗装工業(塗装業)
A型 昭和51年5月30日生
推薦者: 林 洋三



松井 良平くん
チャイニーズレストラン
もりた(飲食業)
A型 1980年3月1日生
推薦者: 林 洋三



山田 祐司くん
山田商店(織物販売)
A型 1976年 7月15日生
推薦者: 河上 剛志



瀧波 靖弘くん
(株)タキナミホーム
(建設業)
O型 1969年1月21日
推薦者: 村中 洋祐



牧 健二くん
レントール福井(有)
(営業)
A型 1963年10月2日生
推薦者: 林 洋三



鷺田 剛くん
三谷コンピュータ(株)
(総合情報処理)
B型 1970年12月10日生
推薦者: 坪口 優(交替会員)

大崎 智子くん
Fit Company
(事務代行業)
O型 1965年1月14日
推薦者: 畑下 徳洋

川崎 茂治くん
(有)ササキ・アンド・コー
(コンピュータ関連)
B型 1961年4月11日
推薦者: 高原 裕一



新入会員紹介のムービーをご覧になるには、QuickTimeが必要です。



会員短信

赤ちゃん誕生

上坂 一仁くんの長男
 上坂 嘉崇(うえさか ひろたか)くん
 平成15年6月4日誕生

宮本 武くんの長男
 宮本 侑享(みやもと うきょう)くん
 平成15年4月25日誕生
 我が家も、家族が増えました！
 一姫二太郎です。パパ不在ぎみ(YEG?)の為、
 ママ&お姉ちゃん毎日奮闘してます…。



店舗紹介

岩本 史枝くん 新規店
 食彩酒楽「いち陽」
 住所: 福井市順化2-21-17 TEL:0776-25-4117

周辺地図





西木田通信

青年部担当となって、はや半年。最初の頃は「わかりません」を連発していた私も最近では自分の判断で動けるようになり、ようやく担当らしくなってきたかなと勝手に思いこんでいました。

ところが！

「岩本君は事務局というより、青年部会員らしくなってきたね。」と会員から一言。

「え!？」

それはもしかして、委員会にほとんど出席しないのにカラオケボックスが会場の会議には夜中2時まで付き合うからなのか。ブロック大会PRで私もステージ上で踊らせて欲しいと騒いでいたからなのか。それとも事務局としては頼りない……？

とにかく、全国会長研修会ふくい会議という大一番を4ヶ月後に控え、少しでもみなさんのお役に立てるよう(迷惑をかけないよう?)、頼れる先輩事務局小谷さんの下、日々精進に励みます。そしてふくい会議を成功させましょう！

福井商工会議所地域事業課 岩本 拓馬



サイトヘルプ

印刷について

ウィンドウズ版 インターネットエクスプローラをご利用のとき、本ホームページをA4サイズ用の紙に印刷すると右端が切れることがあります。このようなときは次の方法をお試しください。

1. インターネットエクスプローラの「ファイル」メニューから「ページ設定」を選びます
2. 用紙サイズ:A4 印刷の向き:縦 余白:8mm以内 と指定します
3. 指定に間違いないことを確認したら、「OK」ボタンをクリック
4. 「ファイル」メニューから「印刷プレビュー」を選びます
5. 印刷プレビュー画面で右端が切れていないことを確認し、印刷を始めてください

[ごあんない]

インターネットエクスプローラ バージョン5.01以前をお使いのときは、3. のステップのち「ファイル」メニューの「印刷」を選び、印刷を始めてください。



動画について

プロジェクトWAO、新入会員紹介のムービーをご覧になるには、[QuickTime](#)が必要です。

[ごあんない]

QuickTime、QuickTimeロゴは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。Get QuickTimeバッジはApple Computer Inc.の商標であり、同社の許可により使用しています。